

100 years of the Universe as observed by mankind. The ongoing story of the Universe woven by eyes and voices.

100年の  
見の  
眼・歌  
宇宙

2024年 11/3 (日) 10:30/13:30/15:30  
※各回約60分・無料・中学生以上対象

国立天文台 天文台歴史館 (大赤道儀室)

天文学 × 現代アートのレクチャーパフォーマンス

言葉

石垣美歩 ISHIGAKI Miho  
国立天文台 ハワイ観測所 助教

声

山崎阿弥 YAMASAKI Ami  
声のアーティスト、美術家

お申し込み



◀ QRコード読み取りもしくは下記URLからお申し込みください。  
申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

<https://www.nao.ac.jp/astro-art>



見晴るかす。歌う。

次の100年の空を

100年

人が見つめてきた

1924年から2024年

100年

天文台が三鷹に移転して

国立天文台三鷹移転100周年記念イベント  
天文学 × 現代アート

# 100年の宇宙

見つめる眼・歌う声

100 years of the Universe as observed by mankind. The ongoing story of the Universe woven by eyes and voices.

私たちはどこから来たのか  
私たちは何者なのか  
私たちはどこへいくのか

天文学 × 現代アート  
レクチャーパフォーマンス

天文学は、こうした人々の持つ永遠の謎に挑み続けてきた。  
東京天文台（現・国立天文台）が東京都北多摩郡三鷹村（現・東京都三鷹市）に移転したちょうど100年ほど前、世界の天文学者たちが生み出した観測手法は、この問いへ大きな一歩を踏み出すものだった。  
いま100年の歴史を経て、最新の天文学が導くこれからの100年。

天文学者が紡ぐ宇宙の姿を、アーティストが声に託して宇宙へ放つ。  
天文学と現代アートの邂逅に何が生まれるのか。  
宇宙に耳を澄ます、ひとときの体験を。

言葉



石垣美歩

ISHIGAKI Miho  
国立天文台 ハワイ観測所 助教

東北大学大学院理学研究科博士課程修了、博士（理学）。専門分野は、銀河天文学、恒星分光学。古い星の元素組成や軌道運動をもとに天の川銀河の形成史を研究。また、元素が宇宙の歴史とともにいつどのような天体で作られたか、観測・理論の両面から検証している。

声



山崎阿弥

YAMASAKI Ami  
声のアーティスト・美術家

自らの発声とその響きを耳・声帯・皮膚で感受しエコロケーションに近い方法で空間を認識する。空間が持つ音響的な陰影をパフォーマンスやインスタレーションによって顕在化・変容させ、世界がどのように生成されているのかを問う。

## 天文学 × 現代アート『100年の宇宙（そら）見つめる眼・歌う声』

日時 2024年11月3日(日) 10:30 / 13:30 / 15:30 ※各回同一プログラム  
各回約60分 事前説明20分（於：4D2Uドームシアター）

レクチャーパフォーマンス35分（於：天文台歴史館）

会場 国立天文台 天文台歴史館（大赤道儀室）集合：4D2Uドームシアター  
〒181-0015 東京都三鷹市大沢2-21-1 ☎ 0422-34-3688（一般質問電話）

鑑賞 無料 / 中学生以上対象 / 各回定員15名（申込多数の場合抽選）

主催 自然科学研究機構 国立天文台

※イベントの会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。  
※開催の最新情報は国立天文台ウェブサイトなどでお知らせします。



◀ QRコード読み取りもしくは下記URLからお申し込みください。  
<https://www.nao.ac.jp/astro-art>

●武蔵境駅・調布駅などから小田急バス・京王バス『天文台前』下車すぐ

